

2023 年 9 月 15 日

各位

株式会社 NSG ホールディングス  
代表取締役社長 池田 祥護

当社における DX の取り組みについて

## 1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性

「人々の幸福と豊かさを実現するために、社会のニーズに合った事業の可能性を追求し、地域社会・国家・国際社会の発展に寄与する」という経営理念のもと、NSG ホールディングスは、NSG グループ法人へのコンサルティングを行っています。その中で、NSG グループ法人の経営状況や経営資源等の情報の把握は、とても重要な業務です。変化の激しい現代において、素早く現状を把握して、発生している問題を列挙し、優先順位をつけるまでをデジタル技術により自動化・時間短縮することによって、迅速な対応を取ることが必要だと考えています。

そのため、社内インフラの整備、各種申請書類のワークフロー化、社員の IT リテラシーの平準化やデジタル人材・DX 人材の育成、情報セキュリティ対策など、多岐にわたり積極的にデジタル化への対応を進めています。また、社内で行った事例については、NSG グループ法人への普及・波及のため、動画・コンテンツ等を制作して、共有を行っております。

NSG グループのスケールメリットを活かして、法人横断的な知識の集積を行い、DX 推進による新たなビジネスニーズを掘り起こし、ニーズにマッチした新規事業を積極的に推進していきます。

## 2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な戦略

### ①NSG グループ全体での経理業務の標準化及び経理システムの統一化

経理業務の標準化・経理システムの統一化によって、生産性の向上を図り、コスト削減を実現します。具体的には、経理業務の業務フローを見直すためのワーキンググループを組成し、打合せを通して業務標準化を図ります。その後、経理システムの統一に向けたシステム検証・選定を行い、各法人にて、統一した経理システムを順次導入し、生産性を向上させます。さらに NSG グループ法人から提出された各種経理データを、統一した経理システムへ自動で取り込む仕組みを構築し、業務工数の削減を実現します。経理システムの統一化による追加効果として、同一フォーマットによる各法人の経営上の数値可視化を実現することも出来ます。

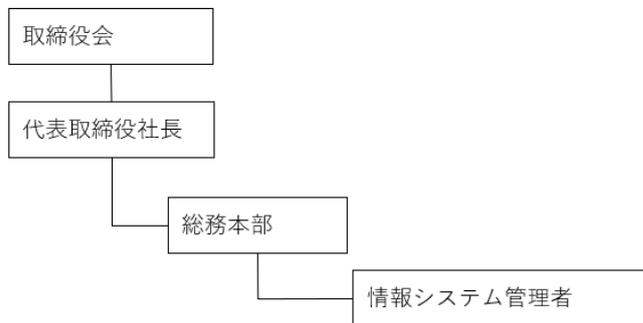
### ②NSG グループ全体に関わる各種データの可視化

各種情報(物件情報や取引情報等)のデータベースを構築して、必要な情報がいつでも確認できる環境を構築します。さらに最新情報への更新に係るタイムラグを短縮するべく、その仕組みを日々研究します。そして、急速な社会の変化に対応した、経営戦略や経営意思決定の迅速化を実現していきます。具体的には、Microsoft365(SharePoint)の使用や、NSG グループ法人にある各種システムと弊社のシステムの API 連携・EAI ツール等の使用を通して、データ収集及び可視化を推進します。

### 3. 戦略を効果的に進めるための体制

代表取締役社長を実務執行総括責任者として、総務本部にて DX 推進戦略の実行状況の総括を行い、情報システム管理者がセキュリティ監査を定期的実施していきます。

DX推進体制



DX 人材の育成として社内の DX 人材育成プログラム基本計画に基づき、DX 人材を育成します。取得検定やスキルに応じて、DX 人材レベル 1～3 として認定します。育成後は社内の各部門及び NSG グループ法人の各部門と連携して、NSG グループの DX 推進を実施していきます。

### 4. 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策

環境整備として以下を実施します。

#### ①NSG グループ全体での経理業務の標準化及び経理システムの統一化

「2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な戦略」を実施するため、経理業務の業務フローを見直すためのワーキンググループを組成し、打合せを通して業務標準化を図ります。その後、経理システムの統一に向けたシステム検証・選定を行い、各法人にて、統一した経理システムを順次導入し、生産性を向上させます。

#### ②NSG グループ全体に関わる各種データの可視化

「2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な戦略」を実施するため、各種情報(物件情報や取引情報等)のデータベースを構築して、必要な情報がいつでも確認できる環境を構築します。具体的には、Microsoft365(SharePoint)の使用や、NSG グループ法人にある各種システムと弊社のシステムの API 連携・EAI ツール等の使用を通して、データ収集及び可視化を推進します。

### 5. 戦略の達成状況に係る指標の決定

経理業務の標準化・経理システムの統一化実施により実現されるデータ自動取込による削減業務工数と NSG グループ法人との連携頻度・連携情報数

補足：四半期ごとの定期評価を実施し、推進状況を取締役会議にて報告します。

なお数値に関しては非公開です。

### 6. 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信

経営者 DX 推進メッセージ

現在、日本では DX 人材が不足をしており、NSG ホールディングスも例外ではありません。そのため、人事部・総務本部を中心に 2022 年 10 月に DX 人材育成プログラムを策定いたしました。

「3. 戦略を効果的に進めるための体制」にある通り、DX人材としてDX人材レベル1～3の基準を作り、まずは全社員向けにDX人材レベル1に該当するITリテラシーレベルの平準化を実施しました。既にDX人材レベル2の育成にも着手し、着々とDX人材の育成が進んでいます。

さらに大きな施策としては、NSGホールディングス、および、NSGグループでの経理業務の標準化・経理システムの統一化が控えており、着々と準備を進めている所です。この施策を契機として、NSGホールディングス及びNSGグループのDX推進を着実に進めます。事業の変革及び働き方改革を達成することで、人々の幸福と豊かさを実現します。

#### 7. ステークホルダーへの情報発信

DX戦略について、NSGグループホームページにて情報を発信します。

「当社におけるDXの取り組みについて」

URL：[https://www.nsg.gr.jp/blog/wp-content/uploads/2023/09/NSGHD\\_当社における-DX-の取り組みについて.pdf](https://www.nsg.gr.jp/blog/wp-content/uploads/2023/09/NSGHD_当社における-DX-の取り組みについて.pdf)

以上